

＜明治乳業株式会社＞
環境報告書 2007より

廃棄物管理のIT化を推進

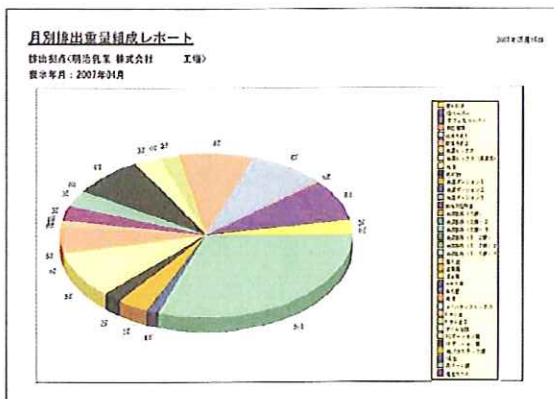
明治乳業では廃棄物管理のIT化推進の一環として、廃棄物データ分析システム（EmiDAS=Emission Data Analyzing System）を自社開発し2005年度から導入し、各事業所から発生する廃棄物の物量、処理コストおよびリサイクル率を種類別に詳細に集約、分析できるようにしました。このシステムをさらに発展させた「EmiDAS Net」を、総合的な環境コンサルタント会社であるイコス社と共同で構築し、2007年4月から明治乳業全工場に導入しました。

本システムでは、廃棄物の管理だけではなく、処理業者との業務委託契約や許可証の管理、廃棄物ごとの処理フロー管理、マニフェスト管理も可能です。また、電子マニフェストおよびGPSによる産業廃棄物運搬車輜監視システムにも対応できるようになっており、関西工場ではすでにこれらのシステムを導入しています。以上のような廃棄物管理に関する総合的IT化は、食品業界でも先駆的な取り組みです。

廃棄物データ分析システム「EmiDAS Net」



各事業所の廃棄物種類別のフロー管理を実施



各工場における廃棄物重量などのデータをさまざまなグラフに出力することができる

自動計量台秤の導入によりきめ細かな管理

関西工場では、各職場で発生する廃棄物を、リサイクルセンターにおいて自動計量台秤（ロードセル）で計量し、そのデータを無線LANで管理用パソコンに送信して管理するシステムを構築しました。

廃棄物管理の効率化、計量精度向上、職場ごとの廃棄物状況把握などに本システムを使用できるほか、廃棄物計量およびデータ入力に係る省力化や、職場ごとの廃棄物削減の取り組みに対しても、本システムの活用を図る予定です。



自動計量台秤（ロードセル）

廃棄物管理用パソコン画面

今後の展望

1) 廃棄物の発生抑制

事業所で発生する廃棄物のより一層の削減（発生抑制）に向け、関係する部署と連携しながら取り組みを進めます。

2) 廃棄物のリサイクル化の推進

廃棄物種類別のきめ細かなリサイクル化の取り組みを推進し、今中期計画達成年度である2008年度末までに、リサイクル率98%達成に向けた取り組みを強化します。

3) ゼロ・エミッションシステムの構築（十勝工場）

十勝工場に関しては、事前にゼロ・エミッションシステムを構築し、生産開始後早期にゼロ・エミッション達成を目指します。

4) EmiDAS Netの活用の徹底

廃棄物管理のIT化推進策として、2007年4月から導入した、EmiDAS Netの活用の徹底、および、関係会社への導入拡大を図ります。